

平成29年度双葉会本部事業報告・決算報告（抜粋）

総括

今年度は社会福祉法人制度改革完全施行の年度であり、改正法の柱である1.経営組織のガバナンスの強化、2.事業運営の透明性の向上、3.財務規律の強化、4.地域における公益的な取組、について積極的に取り組むとともに、法人創立55年、寿楽荘設立50周年、琴清苑設立40周年の節目の年度であり記念式典の開催、記念誌の発行を行いました。公益的な取組にあたる配食サービス、送迎事業については伸び悩んでいるものの継続して事業の展開を図って行きたいと考えています。

老人施設においては、入所稼働率は寿楽荘で95.9%、琴清苑で96.3%、短期入所事業では寿楽荘113.2%、琴清苑80.2%という結果であり、前年比入所稼働率は、寿楽荘は若干の上昇、琴清苑では減少数値となりました。入所については概ね計画通りの実績を残せたものの、入所待機者の著しい減少、要介護度の制約等課題となっています。しかし、稼働率の変動はそのまま事業活動の結果に直結するものであり、これからも年間を通じ高い数値を維持できるよう努めて行きます。また、各種加算請求体制が整ったことから昨年を上回る決算とすることができました。また、看護・介護職の人材難が深刻であり、知恵をしぼり雇用対策の強化を図っているところです。

保育園については、町が力を入れている子育て支援施策の一つである保育料無料化の効果が徐々に出てきている傾向が見え、上向きの決算状況となっています。

診療所については、施設利用者の重度化・町内の高齢化等により医師の業務が激増している中、寿楽荘の常勤医師が年度途中で退職し、後任の医師確保に苦慮している状況が続いています。今後、医師の健康状況も考慮し、非常勤医師の増員等も視野に入れ体制強化を図って行きます。

ともあれ各施設において、法人の理念である「心の福祉」の周知に努め、社会貢献事業の充実・強化、職員処遇改善・育成、再雇用制度の充実に取り組み厳しいながらも安定した運営に努めました。

※ 詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		平成30年3月31日
資産・負債の内訳		双葉会本部
I 資産の部		***
1. 流動資産		***
流動資産合計		33,856,082
2. 固定資産		***
固定資産合計		106,745,634
資産合計		140,601,716
II 負債の部		***
1. 流動負債		***
流動負債合計		11,000,000
2. 固定負債		***
固定負債合計		0
負債合計		11,000,000
差引純資産		129,601,716

拠点区分貸借対照表			平成30年3月31日	
			双葉会本部会計	
			借方	貸方
流動資産		33,856,082		
固定資産		106,745,634		
資産の部合計		140,601,716		
流動負債				11,000,000
固定負債				0
負債の部合計				11,000,000
基本金				0
国庫補助金等特別積立金				0
その他の積立金等				7,064,600
次期繰越活動収支差額				122,537,116
純財産の部				129,601,716
負債・純財産の部合計				140,601,716

拠点区分資金収支計算書			平成30年3月31日
(自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日			双葉会本部会計
勘定科目			双葉会本部会計
決算 の 状 況	事業活動	事業活動収入計①	3,827,781
		事業活動支出計②	4,424,401
		事業活動資金収支差額③ (①-②)	-596,620
	施設整備	施設整備等収入計④	0
		施設整備等支出計⑤	0
		施設整備等資金収支差額⑥ (④-⑤)	0
	その他活動	その他の活動による収入計⑦	15,000,000
		その他の活動による支出計⑧	11,000,000
		その他の活動資金収支差額⑨ (⑦-⑧)	4,000,000
		予備費支出 (⑩)	0
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩			3,403,380
前期末支払資金残高⑫			19,452,702
当期末支払資金残高⑬ (⑪+⑫)			22,856,082

※ 会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。